

<実践シリーズ>わが校の取り組み

生き生きと、ことばで自分の思いや考えを表現する子どもを目指して

朝日町立あさひ野小学校 教諭 大森 祐子

本校の子どもたちはとても素直で明るく、やさしい空気に満ちているが、少しだけ恥ずかしがり屋で自己表現が苦手である。そこで、昨年度より、生き生きと、自分の思いや考えを表現する子どもを目指して表現力と主体性の向上について研修を進めている。

今年度は、①表現力の向上 ②基礎となる言語能力の育成 ③学びの支えとなる主体性の育成を重点に取り組んでいる。研修内容は、以下の通りである。

① 表現力の向上 表現する場の工夫 表現力を付ける授業の工夫 表現する意欲を高める工夫	② 基礎となる言語能力の育成 付けたい力を明確にした単元構想 表現力の基盤となる確かな言語能力の育成 読書活動の充実	③ 主体性の向上 学級活動の充実 自学自習力の向上 (ノート指導と関連)
--	---	---

朝の会では、「スピーチタイム」、集会では、各学年の学習発表や委員会からのお知らせなどを行うことで子どもたちの表現力を養う場としている。また、集会でも感想を自主発表することで自分の思いを伝える場としている。



国語科の授業では、表現力を付ける効果的な言語活動や学び合う学習過程、学習形態を工夫している。さらに、基礎となる言語能力の育成を目指し、能力分析表を基に身に付けたい力を明確にした単元構想を工夫している。今年度は、「書く力」「話す・聞く力」を重点としてノート指導や授業改善に取り組んでいる。

豊かな表現力を高めるには、豊かな感性を育てていくことが大切である。よい本に出会い、より多くのことばに触れ、日本語の美しさを感じ、自分の思いをより的確な言葉で表現できる子どもの育成をあさひ野小学校の全教職員と共通理解を図りながら取り組んでいきたい。



1学期末、6年生がミニコンサートを行い、美しい歌声を響かせていた。大きな口を開けて歌う姿は、生き生きとしており、表現力と主体性の高まりを感じたひとときだった。

